信濃川水系信濃川、大河津分水路　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）【現況河道】1/2

暫定版

1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５６年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川
信濃川水系大河津分水路

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川、大河津分水路
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（信濃川流域の２日間の総雨量１２２ｍｍ）
・年超過確率１／３０（信濃川流域の２日間の総雨量１４１ｍｍ）
・年超過確率１／５０（信濃川流域の２日間の総雨量１５０ｍｍ）
・年超過確率１／１００（信濃川流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）
・年超過確率１／１５０（信濃川流域の２日間の総雨量１７１ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、三条市、見附市、長岡市、小千谷市、弥彦村

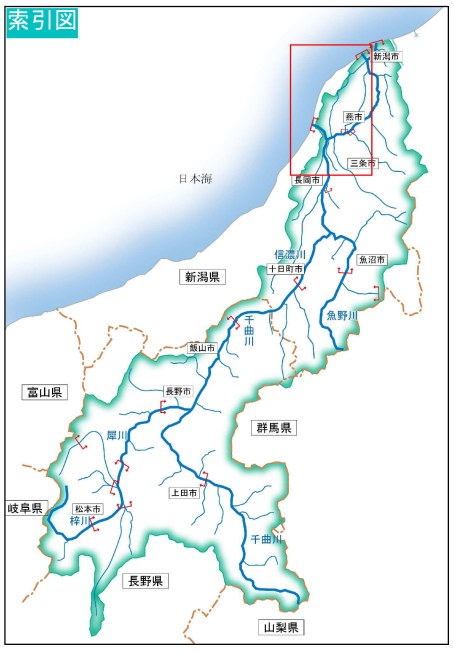
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

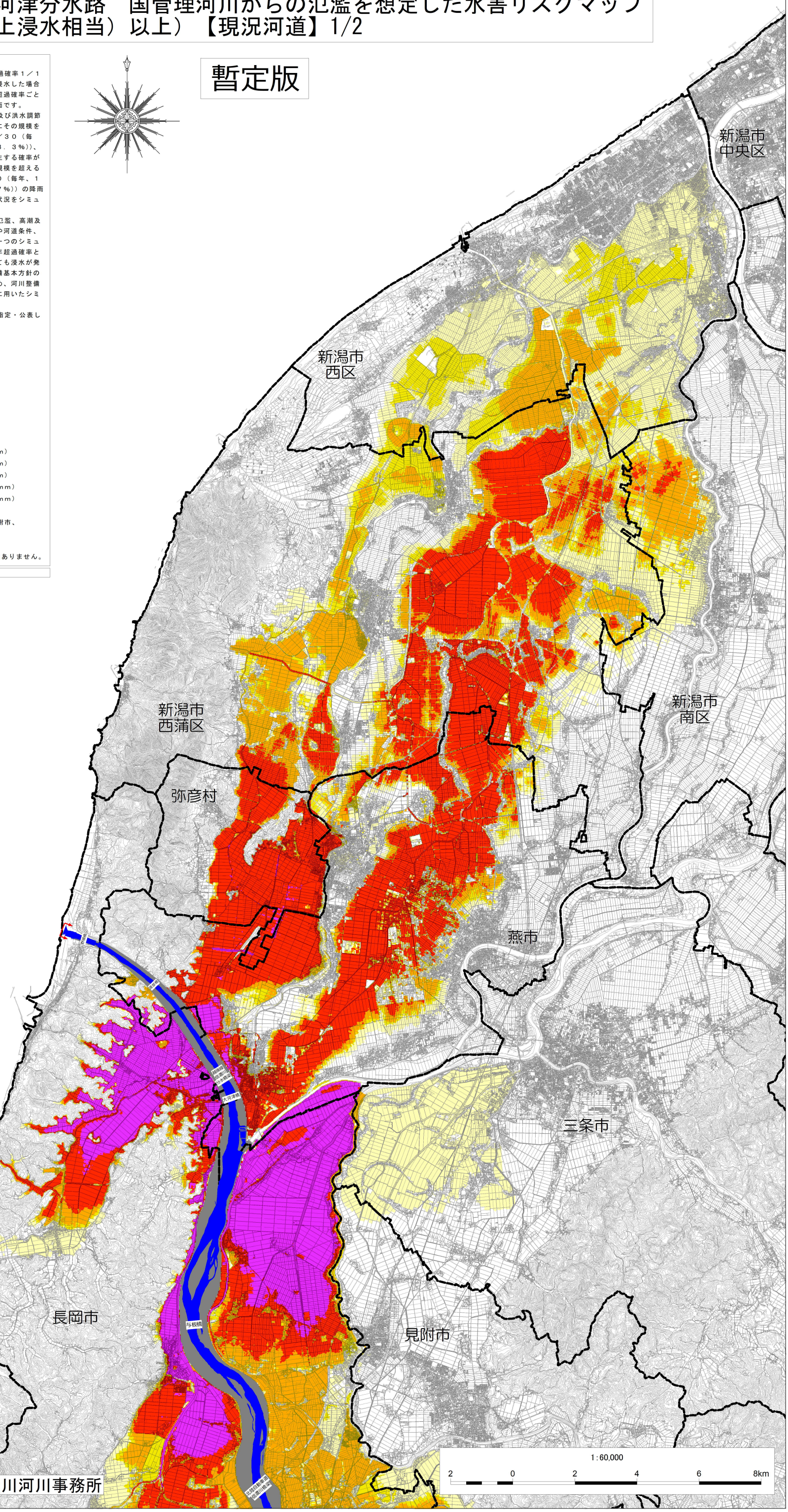
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

位置図



索引図





凡例

想定される浸水範囲
- 高頻度（1／10）
- 中高頻度（1／30）
- 中頻度（1／50）
- 中低頻度（1／100）
- 低頻度（1／150）
- 想定最大規模

市町村界

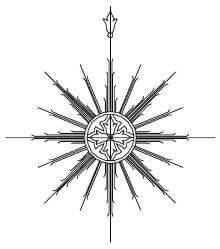
河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

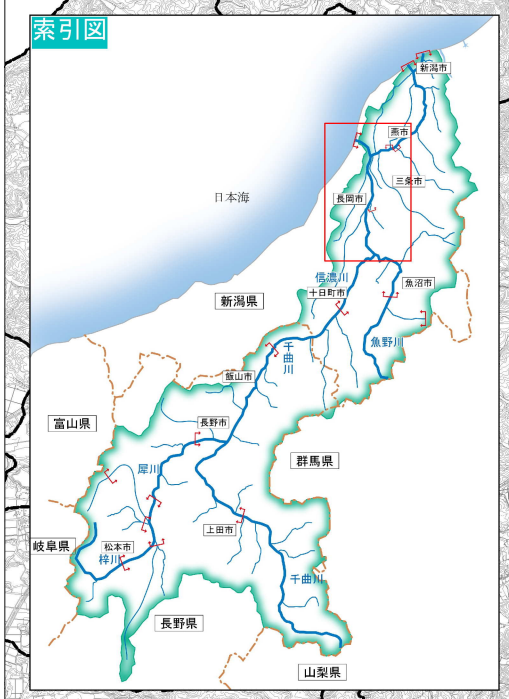
国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川、大河津分水路　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）【現況河道】2/2

暫定版







凡例

想定される浸水範囲

- 高頻度（1／10）
- 中高頻度（1／30）
- 中頻度（1／50）
- 中低頻度（1／100）
- 低頻度（1／150）
- 想定最大規模

-------- 市町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の信濃川、大河津分水路の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により信濃川、大河津分水路が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５６年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川
信濃川水系大河津分水路

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川、大河津分水路
左岸：新潟県長岡市西川口地先から海まで
右岸：新潟県長岡市東川口地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（信濃川流域の２日間の総雨量１２２ｍｍ）
・年超過確率１／３０（信濃川流域の２日間の総雨量１４１ｍｍ）
・年超過確率１／５０（信濃川流域の２日間の総雨量１５０ｍｍ）
・年超過確率１／１００（信濃川流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）
・年超過確率１／１５０（信濃川流域の２日間の総雨量１７１ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　新潟市西区・西蒲区・南区、燕市、三条市、見附市、長岡市、小千谷市、弥彦村

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

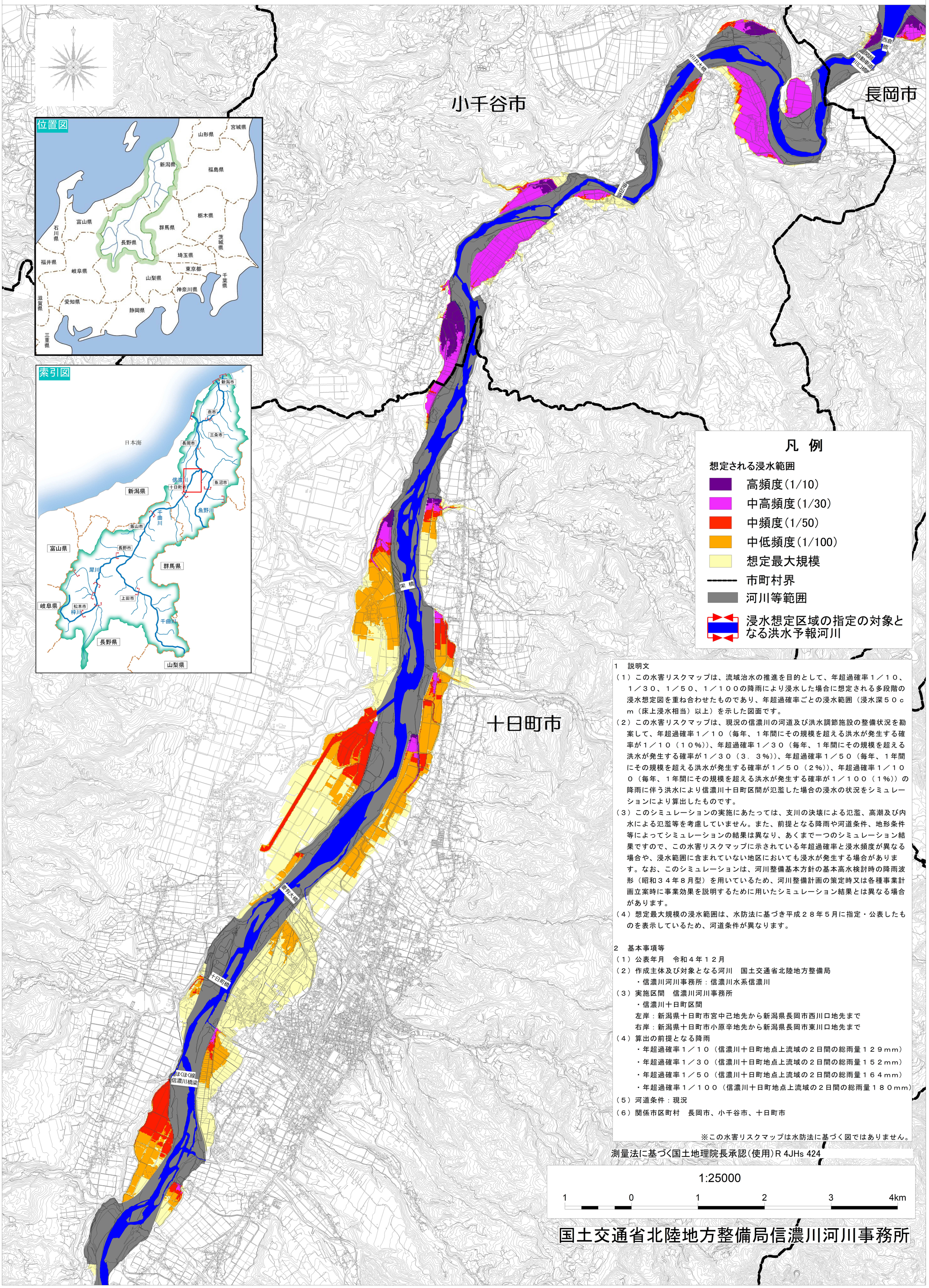
1:60,000

2　0　2　4　6　8km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系信濃川十日町区間　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）　【現況河道】1/2

暫定版



1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の信濃川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））の降雨に伴う洪水により信濃川十日町区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３４年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・信濃川十日町区間
左岸：新潟県十日町市宮中己地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県十日町市小原辛地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１２９ｍｍ）
・年超過確率１／３０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１５２ｍｍ）
・年超過確率１／５０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）
・年超過確率１／１００（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１８０ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　長岡市、小千谷市、十日町市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

1:25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

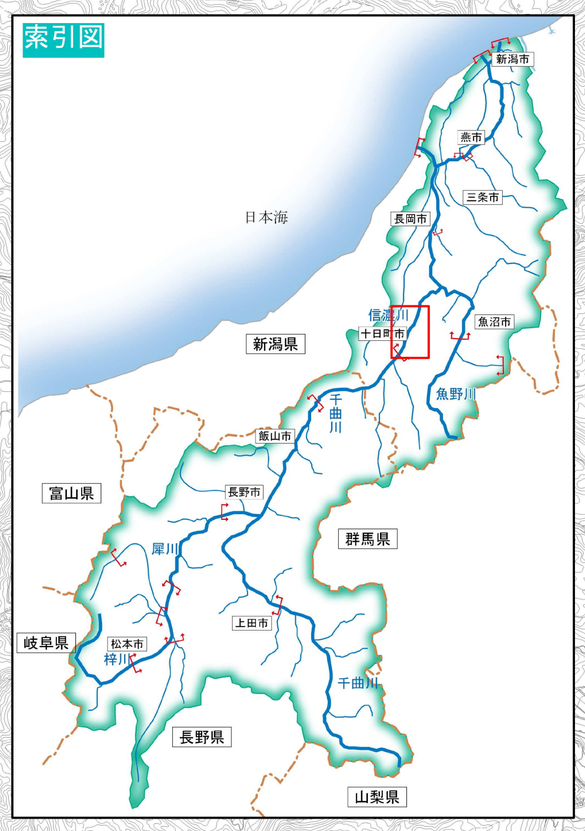
信濃川水系信濃川十日町区間　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）　【現況河道】2/2

暫定版

小千谷市

十日町市





栄橋
妻有大橋
十日町橋
ほくほく線
信濃川橋梁
姿大橋
宮中橋

凡　例

想定される浸水範囲

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 中低頻度（1/100）
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の信濃川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））の降雨に伴う洪水により信濃川十日町区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３４年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
- 信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
- 信濃川十日町区間

左岸：新潟県十日町市宮中己地先から新潟県長岡市西川口地先まで

右岸：新潟県十日町市小原辛地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨
- 年超過確率１／１０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１２９ｍｍ）
- 年超過確率１／３０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１５２ｍｍ）
- 年超過確率１／５０（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１６４ｍｍ）
- 年超過確率１／１００（信濃川十日町地点上流域の２日間の総雨量１８０ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　長岡市、小千谷市、十日町市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

1:25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

信濃川水系魚野川長岡市区間　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）【現況河道】1/2

暫定版

長岡市

魚沼市

魚沼市

魚沼市

南魚沼市

位置図



索引図





1　0　1　2　3　4km
1：25000

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の魚野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、の降雨に伴う洪水により魚野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３９年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系魚野川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・魚野川
左岸：新潟県南魚沼市五日町地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県南魚沼市麗地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（魚野川流域の２日間の総雨量１５９ｍｍ）
・年超過確率１／３０（魚野川流域の２日間の総雨量１９４ｍｍ）
・年超過確率１／５０（魚野川流域の２日間の総雨量２１２ｍｍ）
・年超過確率１／１００（魚野川流域の２日間の総雨量２３５ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　長岡市、魚沼市、南魚沼市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）Ｒ４JHs 424

凡例

想定される浸水範囲
- 高頻度（1／10）
- 中高頻度（1／30）
- 中頻度（1／50）
- 中低頻度（1／100）
- 想定最大規模

市町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

信濃川水系魚野川南魚沼市区間　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）【現況河道】2/2

暫定版





1　説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の魚野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））、の降雨に伴う洪水により魚野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３９年７月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（１）公表年月　令和４年１２月

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系魚野川

（３）実施区間　信濃川河川事務所
・魚野川
左岸：新潟県南魚沼市五日町地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県南魚沼市麗地先から新潟県長岡市東川口地先まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（魚野川流域の２日間の総雨量１５９ｍｍ）
・年超過確率１／３０（魚野川流域の２日間の総雨量１９４ｍｍ）
・年超過確率１／５０（魚野川流域の２日間の総雨量２１２ｍｍ）
・年超過確率１／１００（魚野川流域の２日間の総雨量２３５ｍｍ）

（５）河道条件：現況

（６）関係市区町村　長岡市、魚沼市、南魚沼市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 424

凡例

想定される浸水範囲

- 高頻度（1／10）
- 中高頻度（1／30）
- 中頻度（1／50）
- 中低頻度（1／100）
- 想定最大規模
- ------- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1：25000

1　0　1　2　3　4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所